

平成20年 2月 8日

各 位

会 社 名 株式会社スーパー大栄
代 表 者 名 代表取締役社長 中山 勝彦
コ ー ド 番 号 9819 (福証)
問 合 せ 先 取締役管理本部経理部長 阪本 博美
T E L (093) 602 - 2770

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11月20日の中間決算発表時に公表した平成20年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円、%、百万円未満切り捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	28,700	150	80	100	14円32銭
今 回 修 正 予 想 (B)	28,700	170	110	140	20円05銭
増 減 額 (B - A)	-	20	30	40	5円73銭
増 減 率 (%)	-	13.3	37.5	40.0	40.0
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	29,071	43	128	198	29円24銭

2. 修正の理由

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加などにより、景気は緩やかな回復基調で推移してまいりましたが、米国のサブプライムローンに端を発した国際的な金融市場の混乱や、原油、穀物価格の高騰、さらには円高や株安が追い討ちをかけ、景気は減速傾向となり、個人消費にも次第に陰りが生じてまいりました。

一方、小売業界におきましては、原材料価格の高騰が全般的な物価上昇を招き、消費者の購買意欲は低下するなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社ではお客様への「安全」「安心」な食品の提供に心がけるとともに、生鮮食料品につきましては、採れたての食材を品揃えするなど、「地産地消」を拡大してまいりました。

又、生鮮ディスカウント店の「鮮ど市場」は当事業年度に1店舗新規出店し、店舗数も9店舗となり、売上高及び収益とも順調に推移しております。

さらに、SM店舗とD&D店舗は既存店の活性化と店舗の効率的運営を図ってまいりましたが、不採算店舗の閉鎖効果と経費削減効果で収益力を改善することができました。

その結果、当第3四半期の売上高は21,895百万円(前年同四半期比1.5%減)、営業利益は187百万円、経常利益は144百万円、四半期純利益は163百万円となる見込みです。

なお、小売業界の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されますが、当第3四半期における経営成績などを鑑み、通期予想は前回発表予想数値を若干上方修正しております。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上